

(様式2)平成22年度[自己評価報告書]

学校番号	30	川崎市立日吉小学校
校長名	高橋 順一	

- (1)学校関係者評価を実施した学校は「学校関係者の評価」に記入します。
- (2)評価項目設定については「視点となる例」の評価の項目を各学校の実情に応じて取捨選択、新たな項目を追加することができます。また、各学校独自の言葉で作成し、「視点となる例」の評価項目を()に記入することもできます。
- (3)書き方についてはP17・18を参照してください。
- (4)原稿は、B4ですので印刷の際はA4版に縮小してください。1枚に収まらない場合は、複写してNo.を記入して提出願います。

学校教育目標		学校経営の目標	
豊かな人間性を持ちたくましく生きる子 やる気・思いやり・元氣		望ましい人間関係を基とした公民的資質の向上 授業力向上への取り組みをベースとした学校改善 保護者・地域から信頼される学校	
今年度の重点目標			
学びを創る学校・支え合う学校・つながり合う学校・安心、安全な学校			
評価項目	現状と具体的取組	成果と課題	次年度に向けた具体的な改善策
学び合う喜びを実感する 子を目指した授業づくり	学ぶ楽しさ、学び合う喜びを感じられるような 学習活動の工夫に取り組む。	校内研究を中心に単元の構成・教材の開発・学習活動の工夫などに 意欲的に取り組んだ。一人一人が学ぶ楽しさ、学び合う喜びを味わうこ とができる授業の展開・指導法の研究に取り組み授業改善することが できた。児童相互の学び合いについて、教師の手だてと児童が活動す る学習の場の保証について検証することが課題となる。	授業改善に向かっての実践を積み重ね、各学年が求める児 童の姿の具現化を早期に図り、学習過程・教材等の工夫と開 発に努めるようにする。相互に情報交換し合い、授業改善に 向けての方向性と手だてについて共通理解を図る。
教科・総合的な学習の 時間の指導計画の検証 と編成	指導要領23年度完全実施に向け指導計画を 見直し、子どもたちの現状と課題を捉え、思考 力・判断力・表現力の育成に取り組む。	新指導要領完全実施に向けた指導計画の見直しをし、次年度に生か したい内容と地域の人材を生かした学習の展開について加除修正を 行った。	今年度実施した内容について検証した事例や学習内容を次 年度に引き継ぐようにする。地域素材の開発については、さら に発展的に取り組んでいく。
人権尊重教育・道徳教 育の充実	望ましい学級づくりの具現化に努め、児童一 人一人の見とりから学習・生活について指導 できるように、道徳教育の充実に努める。	学級経営をもとにした、望ましい人間関係づくりの児童指導に努めてき た。道徳の時間・各教科等の時間で道徳教育の充実を図ることが課題 となる。	学級・学年をこえた情報の交換と個々の良さを相互に理解し 合える場の提供を心がけると共に、授業改善に加え、心地よ い学級風土をめざす。
児童理解・児童指導の 重点、教育相談の充実	一人一人の学習状況・学級での生活につい て、きちんと把握し、児童のわずかな変化にも 着目し、早期に対応できるように努める。家庭 との連絡をとり、情報の収集を心がける。	児童・保護者との連絡を密にし、問題が発生した場合は、早期に対応 し担任のみの対応でなく校内(学年)で対応してきた。ケースによっ ては、区担指導主事との連携を図り解決にむけ努力した。	ケースによって対応が異なったり、児童の実態に適した指導 が必要となったりするので、児童理解、事象についての研修 の場を設けるようにする。
児童一人一人の教育的 ニーズに応じた教育の 推進	特別に支援を要する児童・個別に対応を要す る児童の教育的ニーズに応えるため、個を生 かした学級経営や教科指導に努め、一人一 人のニーズ等に合わせた指導を行う。	個別に対応しなくてはならない児童の実態・内容の把握と対応につい て全教職員で共通理解し、取り出しや入り込みといった指導体制をと った。	特別な支援を必要とする児童の教育的ニーズに応えるきめ 細やかな教育を計画し、個を大切にしたい指導の充実に努める。
家庭・地域社会の教育 力の推進	家庭・地域の教育力の発掘と地域環境・人材 をいかした教育課程の編成を図る	各学年の教育課程にいきる地域の人材活用を計画的に授業構成して きた。各学年の学習ボランティアの参加、地域の協力者の応援があ り、独自の学習プログラムを構成できた。さらに、計画的に学習プロ グラムとして確立する。	教育課程に組み込むための内容の検証と精選、指導目標の 共通理解を目指す。引き続き、検証、修正しながら内容の充 実を目指し、地域協力者との連絡協議の場の確保をし、開か れた学校づくりを目指す。
学校・学年・学級の教育 計画、取り組み成果の 情報公開	学校説明会・授業参観・懇談会・学校、学年だ よりなど、保護者や地域協力者の方々の学校 教育に対する理解と参画を図る。	学校からの情報発信、保護者や地域からの情報受信を心がけアン ケート収集をした。ホームページの更新作業が円滑に行えるよう情報 部による計画の見直しが必要である。保護者向け(授業参観・学年行 事)公開の日時等にも再考の必要がある。	開かれた学校を目指し、適時情報発信を行い、各学年の取り 組みについて理解を得るように努める。ホームページの更新 を適時行い、学校行事、各学年の取り組み等について情報発 信していく。
学校教育推進会議の充 実	児童・保護者・地域の方々の願いや思いを 生かし、学校運営に反映できるようにする。	推進会議の実施により、地域協力者からの応援体勢を得ることができ た。推進会議を計画的に開催し、出された意見を日吉プランに反映し たり学校経営の改善にいかしたりしていく体制をさらに確実なものとし たい。	年度初めに計画的な活動について準備し、提案性のある推 進委員会の実施と日吉プラン推進にかんする啓発活動を行う。 また、中間のまとめをしっかり行うことで、学校経営の改善に いかす体制を確立する。

校舎内外の整備・教室環境の整備・施設整備の充実	学校全体の環境整備に全職員で取り組み、児童が学習しやすい教室環境づくりに努める。	各担任・各教室の管理責任者を中心に、校舎内や学校周辺の環境整備・安全点検に毎月取り組んできた。緑化保全担当をおき、計画的な環境保全にも努力した。	学校施設の補修を必要とする箇所の計画的な修理、改善を心がける。環境保全の観点から、緑化保全担当を中心に池や樹木の管理を見直し、計画的に行う。
健康・安全教育の推進と充実	児童の健康・安全を守る意識を高め、リズムある生活と事故防止に努める。校外役員との連携をとり、交通事故防止に努める。	健康・安全に対する意識の向上を図り、安全指導の時間・救急法の研修に取り組んだ。安全マニュアルの整備 挨拶運動 安全点検等に取り組み、事故防止に努めた。登下校班を活用した防災システムの整備が課題となる。	健康教育については、体力・健康面の実態の把握と認識を深め、授業に生かすようにする。安全指導については年間の学習計画に位置づけながら児童と共に活動できる計画的に行う。
各分掌ごとの連携と有機的な機能	学校目標達成に向けた有機的・効率的な学校運営を図る。	運営・責任体制が整備され、実践力のある組織として整備されてきた。各分掌や四部会などで話し合われた内容について共通理解をしながら、計画を推進することができた。	さらに効率的な組織を目指し再編成を行うと共に、活動に連動性を持たせながら学習活動へとつなげられるようにする。
今年度のまとめ・次年度へ向けての取り組み			学校関係者の評価
<p>まず、授業改善の取り組みを中心に、学校目標に迫る教育課程の編成・校務分掌の整備を行った。学校評価の取り組みから、学校に対する地域、保護者のニーズについて理解し、その内容を生かしながらよりよい学校をめざしていこうとする意識が職員の中で共有できるように取り組んだ。各分掌・部会毎に、評価(内容の見直し)をすることで、創造的な学校運営に教職員が参画するといった意識が生まれつつある。校内研究として伝え合いから学び合いを主題に取り組んできた。主題の具現化を目指した授業実践を通して学び合う子ども達の育成と授業改善がおこなわれた。今後は児童用評価シート、保護者アンケートの修正と内容の再考について考えていきたい。前期のまとめ、後期のまとめについてシステム化することで、より具体的な取り組みや改善方法が見いだせると考えている。</p>			<p>日吉という地域を活用した特色ある学校づくりを目指していると思う。保護者や児童に寄り添った姿勢が感じられ、地域との連携も大切にされた学校運営が成されている。学校評価を生かし、学校改善に向け全職員で努力しようとしている。授業を大切にしていこうとする意欲も感じられる。</p>

